

参加無料

外出支援の 拡充に向けて

日時

2016年3月24日(木)
13:30-16:30

場所

横浜市健康福祉総合センター
8階 8A・B *桜木町駅 徒歩1分

基調講演

結城 康博氏 淑徳大学社会福祉学科教授

「新しい総合事業と

移動・外出支援の仕組みづくり」

パネルディスカッション

奥田義人氏 認定NPO法人たすけあいの会ふれあいネットまつど

杉本依子氏 NPO法人ハンディキャブ ゆづり葉

清水弘子氏 認定NPO法人かながわ福祉移動サービスネットワーク
コーディネーター

河崎民子氏 NPO法人全国移動サービスネットワーク
コメンテーター

結城康博氏 淑徳大学教授



結城康博氏 プロフィール

淑徳大学社会福祉学科教授

- 法政大学大学院（経済学修士・政治学博士）専門は、社会保障論、社会福祉学。
- 社会福祉士・介護福祉士・ケアマネジャー。地域包括支援センター及び民間居宅介護支援事業所勤務経験をもつ。
- 著書に『在宅介護―「自分で選ぶ」視点から』（岩波新書、2015年）、『日本の介護システム―政策決定過程と現場ニーズの分析』（岩波書店2011年）、『介護―現場からの検証』（岩波新書、2008年）など多数。
- 厚生労働省・社会保障審議会介護保険部会の委員を務めた経歴を持ち、独自の視点で政策の提言を行っている。

【開催の趣旨】

超高齢社会の進展に伴い、外出が困難な住民が増え、地域の課題となっています。厚生労働省は今回の介護保険改正の中で、住民が主体となって行うたすけあい活動を生活支援サービスのひとつとして位置づけ、その中に「訪問型 D・移動支援」というメニューを例示しました。高齢者の引きこもりから生じる日常生活機能の低下など、介護予防の観点からも「外出支援」は重要性を増しています。

新しい総合事業に先進的に取り組む自治体では、外出支援を含めた住民主体のサービスの仕組みの構築が独自に進められ(松戸市/たすけあいの会ふれあいネットまつど)、また、生活支援サービスや協議体の形成に地域で活動する NPO や、市民が積極的に参加する例(多摩市/ハンディキャブゆづり葉)もうまれています。私たちの地域のまちづくり、これらの先進事例に学びましょう。



セミナー会場へのアクセス

■参加申し込み

*FAX・メールでお申込みください(参加無料)

定員 100 名(先着順) *ご参加いただけない場合のみ、こちらより連絡いたします

団体名・所属		
参加者氏名		役職など
連絡先 Tel /Fax		
メールアドレス		
連絡事項		

お申し込み・お問合せ かながわ福祉移動サービスネットワーク

横浜市港北区新横浜 1-16-2 S. E. エトワール 602

TEL : 045 (534) 6718 / FAX : 045 (472) 1710

E-mail : kanagawa-idounet@b04. itscom. net